

## 「東小ブランド」～魅力ある与東小を目指して～

令和5年9月11日

教頭先生が学校評価をまとめています。保護者からは厳しい指摘も幾つかありますが、そのような声もより良い学校づくりに必要な指摘だと捉え保護者に信頼される魅力ある学校づくり、何より、変化の激しいこれからの時代を生きる未来の東っ子の育成のために、今後とも、先生方の力をお貸しください。

1 学期後半が始まったばかりですが、次年度の与東小グランドデザインの策定に向けて、少しずつ動き出したいと考えています。その為には、先生方と協議しながら、地域や保護者の願いも考え合わせた上でグランドデザインを策定する必要があると思います。

私は、「目指せ 3 つの日本一」を掲げていますが、意図する狙いは、丁寧さと粘り強さ、意識化することで前向きになる心のスイッチを ON すること。そして、出来たという達成感や自信、与東小の児童であることへの誇りを感じさせたいのです。そして、この取り組みを通して、より良い学校づくりのために、子ども達自身からアイデアや行動が引き出され、より良い学校づくりに参画する児童を育てたいのです。5 日(火)栽培委員、保健委員さんの発表と合わせて生活委員の発表がありました。その中で、丁寧な立ち止まりあいさつや「靴へり」のことを発表してくれました。その日以来、丁寧に立ち止まりあいさつする子が増え、靴箱の掃除では、「靴へりだよ」の言葉だけで、ピシッとそろうことができています。悔しいけれど私の話より、子ども達が説明した方が、効果が大きいのが分かります。子ども達の当事者意識と貢献する態度を育てましょう。



さて、「東小ブランド」ですが、来年4月に赴任した新しい先生が「東っ子はあいさつが上手ですね。」とか、「掃除を一生懸命やりますね。」など、または、今の6年生が与中に行った時、「東小出身の子は粘り強く取り組める子が多いですね。」などの言葉が出てきたとしたらどんなにかステキなことでしょう。



学習のことで言えば先週は2年担任の先生方が一人一授業と隣学年研を行いました。2年生は、どのクラスも最初から最後まで粘り強く集中し取り組んでいました。また、グループのメンバーで話し合いながら課題解決する姿を見て嬉しくなりました。低学年の段階から協働的な学びを数多く体験させるとそれ以降の学年の学びにも良い影響を与えたいと思います。子ども達から「お友達と勉強するのは楽しい。」との声が出ると嬉しいものです。

「東小ブランド」。この学校で学ぶことによって、子ども達に以下の力が育つことを願っています。

**粘り強く前向きに、丁寧さと集中力を持ち、周りの子とより良い関係を築きながら課題解決に向かう力**

です。

その為には、自己肯定感や自己効力感などの自分で自分を信じられる力。グループや学級会での話し合い活動の充実。子ども達のアイデアや思いを活かした係活動や学級、学年での行事。さらに、児童会を中心に上級生を核に取り組む学校行事の工夫。自分の思いや意見・考えを伝え・聞き合い、より良い考えを導き出す言語能力の向上などが必要になってくると思います。上記のことは計画なしに行うことはできませんので、各教科との関連性や学年・学校行事との兼ね合いを考慮して作る「カリキュラム一覧表」が必要になります。教科書も来年から変わるこの機会にカリキュラム・マネジメントに挑戦してはと考えています。